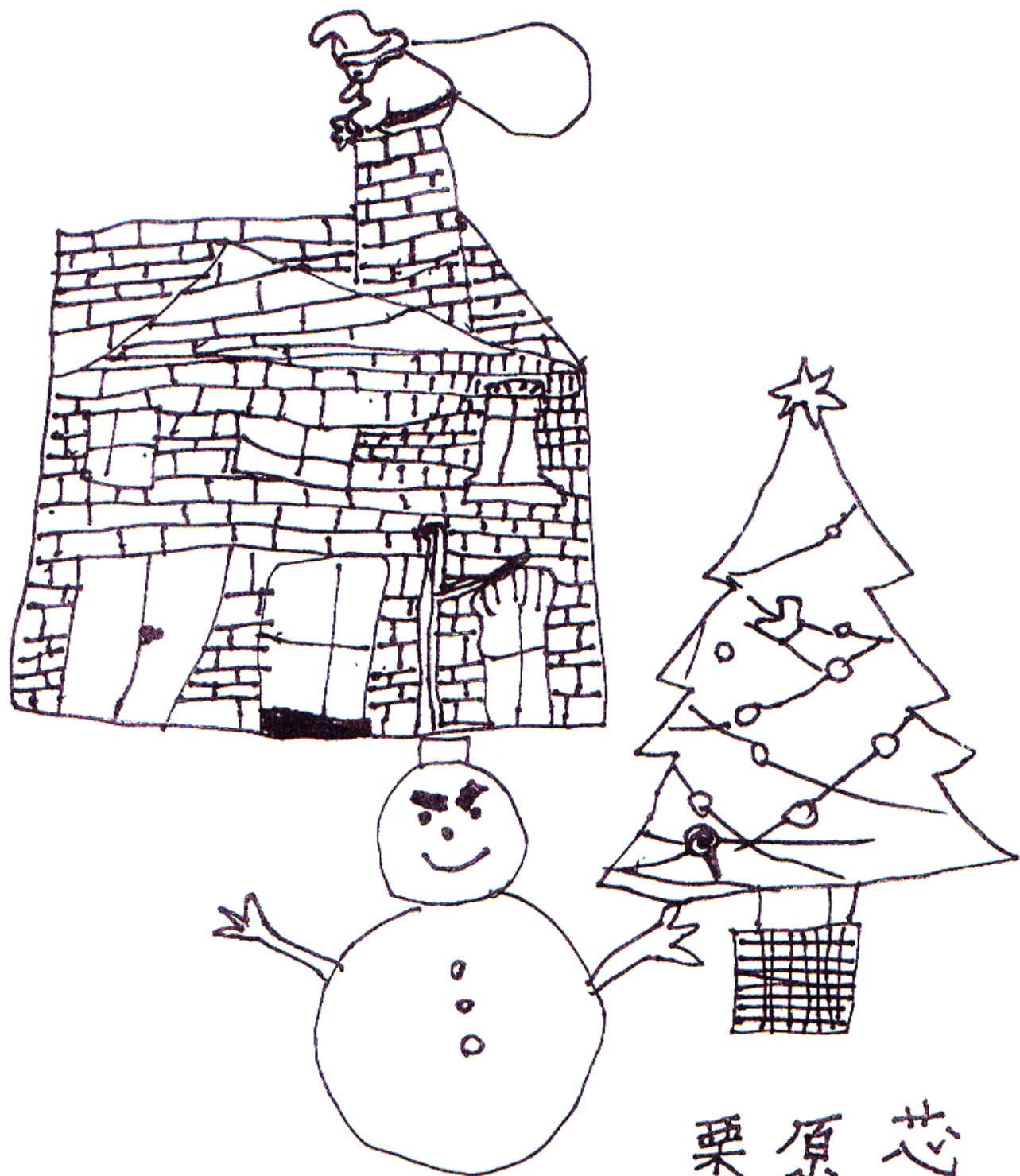


とよ・たち美肌通信12月号

Vol. 97



栗原 芯

* 12月号 *




* 今月号の表紙は、 *

* 楽しそうなクリスマス!! 外にはすてきな
クリスマスツリーと 大きなゆきだるまが!!
とってモ強そう☆ ぞして レンガの家の *

* 煙突には ...! サンタクロースが! 沢山の
プレゼントの入った袋を持ってますね♡
何がもらえたのかな?? *

* 絵をかく事が趣味で、いつもサッカーを
頑張っている男の子が書いてくれました! *

* 得意な事は、ご飯を3杯も食べる事
だそうですヨ ユキモリモリだね!
これからもサッカー頑張ってください!  *

* 院長はじめスタッフ一同より感謝いたします。

朝比奈宗源とおっしゃる鎌倉円覚寺^管長を務められた高僧、その方の言葉である。「人間は仏心の中に生まれ、仏心の中において仏心の中に息を閉じよ」。何のこっちゃ真意が分からない。でも考えたいと思い「仏心」を調べてみた。

「仏心」とは人間が仏様の様になりたいと思いはじめからくぐる仏の道、とでも言うべきか。仏心を道元禪師はこう述べている。「自分を苦しめるもろもろの悪を心の中で生み出さず、人間的な良し悪しに執着する心なく、一切存在の為に憐れみ、どんなことも嫌う心無く、求める心無く、憂いの心もなく、その思い自体もない静かな心。これを仏心という。

仏心は人間(ヒト)の目や心で理解しようとしても、見えたり分かたりする様なものではないのだから。

少し調べを進めるとすぐに、仏心云々以前に仏教について何も知らなければ「仏心の偉大さや尊さは分からない」ということが分かった。なぜなら仏教とは仏様が説かれた教えであると同時に仏になる(近づく)教えでもあるからです。

つまり、仏教者のゴールは様々ですが「仏になることだ」というのです。仏になることを目指す者を「菩薩」といいます。観音様、お地蔵様、弥勒様これらは全て「〇〇菩薩」といいます。

ここまで調べると、当たり前ですが、私には仏心など理解するのは一生出来ないと感じかされました。でも遙か遠い目標であっても仏になることを願う心を抱くことは千里の道も一歩からと同じことです。すなわち、時に自分の限界を知り自分の至らなさに気づく。でも、そんな自分を引き受けて一歩ずつ前進し生きる覚悟が定ま、た時、自分は少し強くそして少し優しく生きることが出てくるのではないかと思います。

そう考えると、人生折り返しが始まった今、テーマを持って生きなければならぬ。なぜならこの先分かっていくことはただ一つだけ。それはいつかは死ぬということ。生と死を結ぶこの一回きりの人生、何に命を使って生きるか。そのテーマを考えなければならぬ。以前知ったネイト・インディアンのある言葉が自分には重なる。「あなたが生まれた時、周りの人は笑ってあなたを泣かした。だからあなたが死ぬ時は、あなたが笑って、周りの人が泣く様な人生を送らなさい」。二度とない人生をどう生きるか。テーマを定めた時、生きる力が湧いてくる。

院長 拝